

# 平成28年7月1日～8月31日に報告された熱中症入院患者数

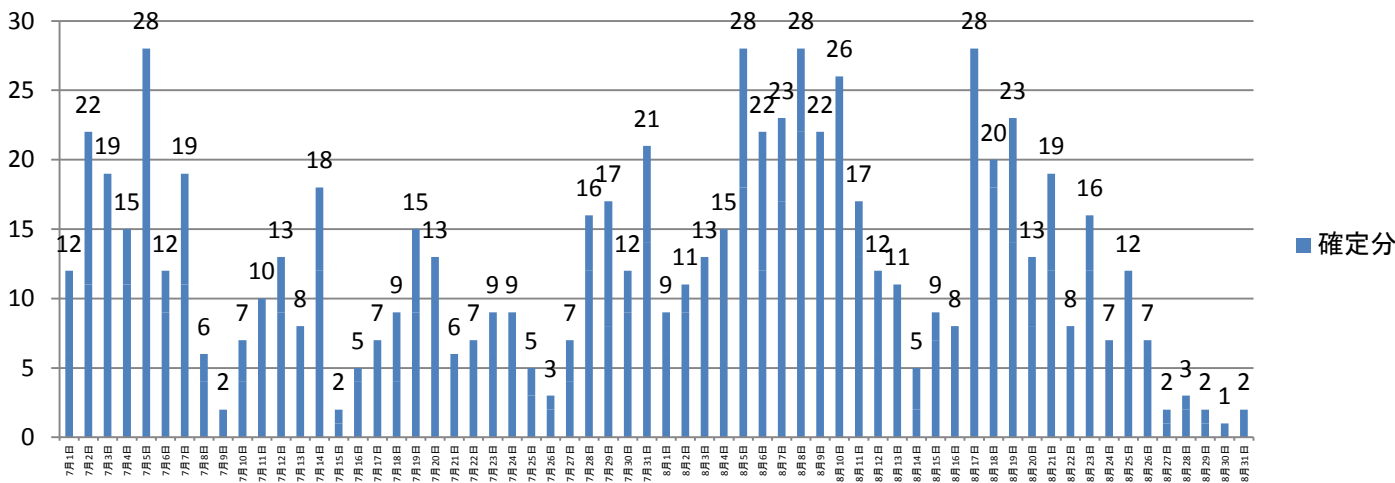
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会・熱中症に関する委員会(委員長:清水 敬樹(東京都立多摩総合医療センター 救命救急センター)による「熱中症患者即日登録調査2016」で収集した情報に基づいています。

●熱中症の発生が危惧される平成28年7月1日～8月31日の間に報告された熱中症による入院患者数等\*について、各日分として公表した当該日報告分に公表後の追加報告と重複等による報告の取り消しを反映させ、再集計しました。

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

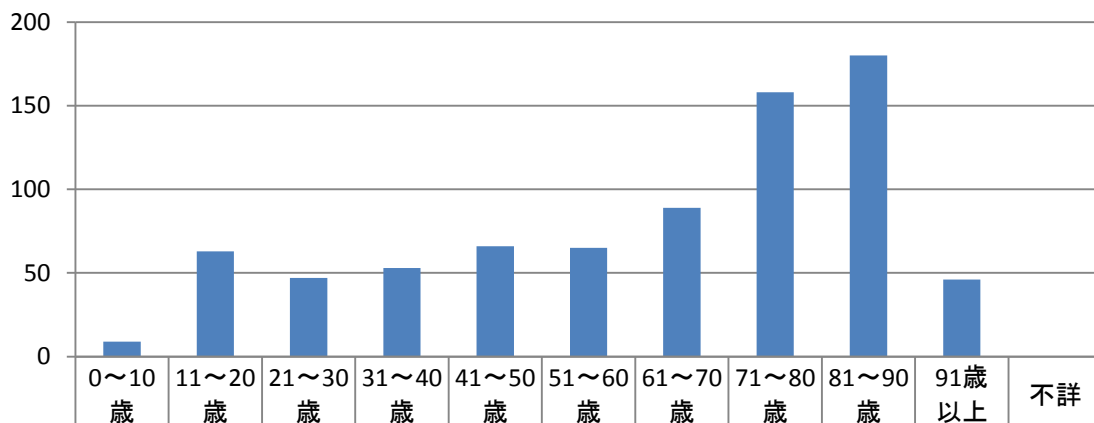
\* 外来診療により帰宅した患者を除いた来院熱中症患者数

## 報告された熱中症入院患者数



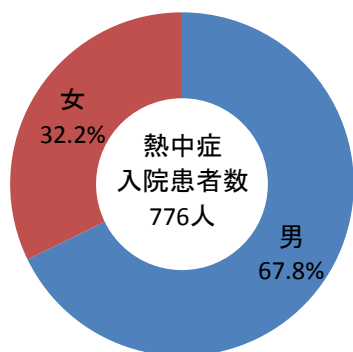
都道府県 医療機関所在地別熱中症入院患者数 (7月1日～8月31日)							
北海道	14人	栃木県	7人	大阪府	45人	熊本県	14人
青森県	11人	群馬県	30人	兵庫県	43人	大分県	5人
岩手県	6人	山梨県	4人	京都府	55人	鹿児島県	40人
宮城県	11人	新潟県	13人	滋賀県	16人	沖縄県	11人
秋田県	2人	長野県	32人	奈良県	11人		
山形県	8人	富山県	12人	鳥取県	2人		
福島県	6人	石川県	3人	島根県	3人		
東京都	73人	福井県	4人	広島県	18人		
神奈川県	22人	愛知県	60人	山口県	10人		
埼玉県	13人	岐阜県	2人	徳島県	24人		
千葉県	19人	静岡県	26人	高知県	33人		
茨城県	7人	三重県	11人	福岡県	50人		

## 熱中症年齢別入院患者数(7月1日～8月31日)

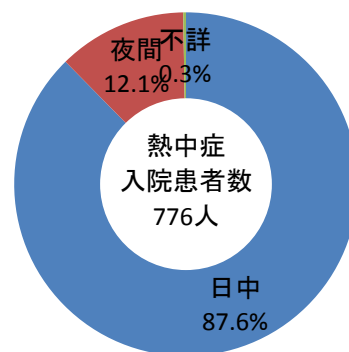


熱中症年齢別入院患者数	9	63	47	53	66	65	89	158	180	46	0
-------------	---	----	----	----	----	----	----	-----	-----	----	---

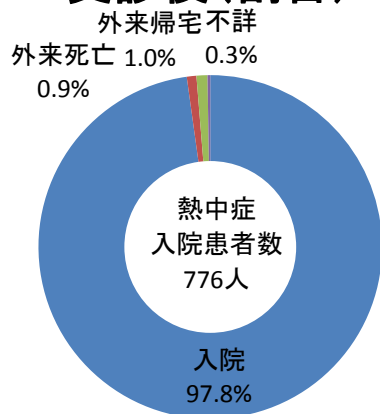
### 男女別(割合)



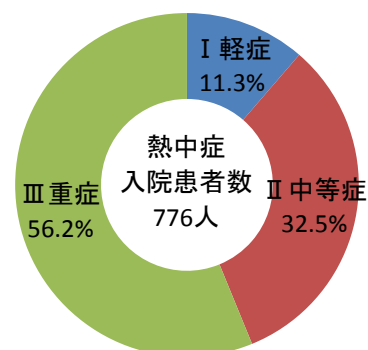
### 発症時間帯別(割合)



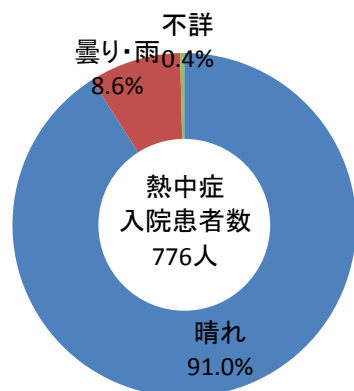
### 受診後(割合)



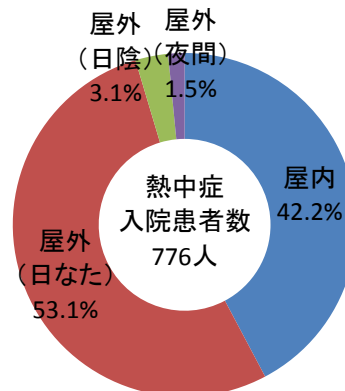
### 重症度分類(割合)



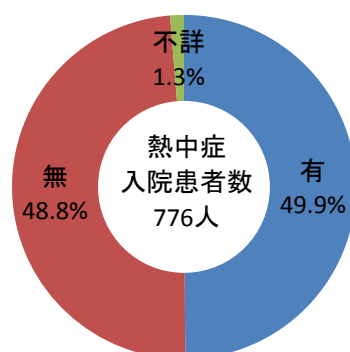
## 発生時の天気(割合)



## 発生場所(割合)※



## 運動の有無(割合)



※ 重複回答は、それぞれに分類し割合を算出していますが、人数については「報告された熱中症入院患者数」を掲載しています。

\* ここでいう「発症」とは、自覚症状や他覚症状が認識されたときのことを指し、「発生」とは、発症に最も影響を及ぼしたと考えられる一連の過程のことを指します。

\* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

\* 熱中症入院患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。